

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	消防本部
課室名	総務課

予算	款	項	目	決算書
	9	1	1	192 頁

目 名
常備消防費

事務事業名称
常備消防運営事業

1. 概要

目的	消防力の強化を図り市民の安全安心を守る	対象	市民
事業概要	<p>○災害対応事業……火災業務、救急業務、その他救助等業務</p> <p>○教育研修事業……救命士研修、消防学校教育、各種資格取得</p> <p>○車両整備事業……高規格救急自動車1台、指揮車1台、連絡車1台を整備する。</p> <p>○管理運営事業……運営に係る一般経費</p>		

臨/経	事業名	事業内容（主な経費等）	予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価	
					国・県支出金	市債	その他	一般		
経常	災害対応事業	災害活動、消防、予防、救急啓発活動	備品購入費	9,159	8,573				8,573	3
経常	教育研修事業	各種研修、資格取得	負担金補助及び交付金	6,202	5,995				5,995	3
臨時	車両整備事業	車両3台	備品購入費	37,111	36,255		28,800		7,455	3
経常	管理運営事業	維持管理	需用費	35,474	31,505				31,505	3
計				87,946	82,328	0	28,800	0	53,528	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民の安全安心の確保		目標年度	指標の設定理由				
	数値	—			市民の安全安心の確保が必要であるため				
活動指標	指標	a	火災出動件数	b	救急出動件数	c	その他災害出動件数	d	教育研修参加数
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
市民の安全安心の確保		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 火災出動件数	件	73 件	81 件	80 件
b 救急出動件数	件	1,813 件	1,926 件	2,180 件
c その他災害出動件数	件	81 件	76 件	77 件
d 教育研修参加数	人	31 人	30 人	34 人

4. 課題と対応

課題
消防力の維持強化のため車両、資機材の充実を図ることが必然であり、厳しい財政状況の中にあっても整備、更新を図る必要がある
対応（改善点等）
消防力の充実強化のため更新計画における年度予算の平準化及び仕様書等を精査しコストの削減に努める

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

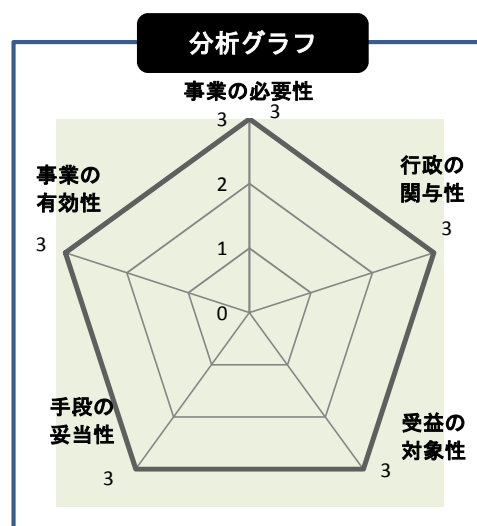
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		128,629	123,674	82,328	47,203
うち経常経費		41,689	52,851	46,073	47,203
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	82,500	69,100	28,800	
	その他				
	一般財源	46,129	54,574	53,528	47,203
うち経常		41,689	52,851	46,073	47,203
事業費に係る人件費		289,090	286,286	293,003	283,370

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市民の安全安心を確保維持するため必要な予算

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民の安全安心を確保維持するため必要不可欠であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市民の安全安心を確保維持することは市の責務である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全ての市民を対象とした事業
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市民の安全安心を構築するため必要な事業
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 本事業は必要不可欠な事業と判断できる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	経費の削減を図りつつ、目的の達成に努めること